



2月号

令和4年1月25日

横浜市立 星川 小学校

校長 羽山 悟

TEL.332-2101 FAX.331-5052

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hoshikawa/>



創立150年目を迎えて

校長 羽山 悟

深夜の静寂の中、滔々と鳴りゆく鐘の音が年の始まりを知らせてくれ、心身ともども新鮮な気持ちに蘇らせてくれました。制限のある中、あちらこちらでお正月の行事も行われ、少し懐かしささえ感じてしまいました。星の子たちも良い年を迎えられたことと信じています。



1月の風物詩である校内書初め展が先日行われ、それぞれの思いや個性のある書体が校内いっばいに飾られています。色々な星の子の作品を見て、驚きや関心を心情に問いかける大切な機会となりました。日本の字の素晴らしさや含蓄のある趣も、再認識してもらいたいと願っています。



さて、本校は、来年度、創立150年目（明治6年〈西暦1873年〉）を迎えます。明治維新が執り行われている中で、明治5年〈西暦1872年〉に学制が制定されました。翌年、鉄道も通っていないこの星川の地（現和田町駅付近）に、児童数60名、先生1名の星川学舎として開校いたしました。150年もの歴史の続いている小学校が現存しているのは、日本の各地を見わたしても少ないことと思います。

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、過去の歴史を研鑽し規模や内容を考えていきたいと思えます。そして、来年度、児童の教育活動を優先しながら、150周年記念行事事業を執り行いたいと思えます。先日、150周年に向け、星川小学校学校関係者評価委員会の代表の方々を發起会とし、委員長を藤澤守様（岩間地区連合町内会会長、星川一丁目自治会長）、副委員長を高崇様（学校地域コーディネーター、学校関係者評価委員会会長、星の子応援隊長）にお願いをいたしました。組織がさらに決まり次第お知らせし、令和3年度準備委員会、令和4年度実行委員会と準備を進めていきたいと考えています。

学校は、そろそろ年度末を迎えます。そして、星の子の卒業や入学の準備にも入ってきます。色々な形はあるにせよ、是非、今以上に温かいご声援、ご鞭撻を星の子たちへのはなむけの言葉と同時にいただけるとありがたいと思えます。